

福岡県庁知事室で、服部県知事に対して、NPO法人 安全・
安心サポートセンター の設立及び活動内容等を説明

1 当NPO法人 渡邊理事長から 知事への説明（令和6年4月26日）

○ NPO法人安全・安心サポートセンターの設立経緯

警察OBの有志で、現職時代に培った知識・経験を 地域の安全安心なまちづくりに生かしていこうという趣旨で令和2年10月に立ち上げたが、折からの新型コロナの影響により、やむなく活動は休止状態が続いた。

○ 活動計画 と「安全安心塾」の開催

新型コロナの活動制限解除後の令和4年春からは、高齢者を対象とする「振り込め等二セ電話詐欺」・「交通死亡事故」などの増加に伴い、当NPOは 高齢者を対象とした「安全安心塾」を開催して、注意を喚起し被害防止図っている。

最初は、知名度が無く 資金不足等により、苦労の連続であったが、令和5年度になると、県警本部長からもからも当NPOの活動が、警察官の増員が無い中で「OBの皆さんの活動は大変ありがたい。」と激励を受け、8月には福岡市から当NPOの活動が、補助対象事業に認定され、11月になると 毎日新聞に 当NPOの活動が大きく報道された。

○ 活動実績と参加者の反応

令和5年度は、高齢者を対象とした安全安心塾を福岡市 及びその周辺自治体で延べ 12回 開催し、受講者は 600名余に上った。塾終了後、参加者にアンケートを実施すると、「定期的に開催して欲しい」という要望が8割を超えた。

○ 財源の確保

正会員・賛助会員等の年会費や福岡市からのNPO補助金により安全安心塾を開催しているが、資金は乏しく活動範囲の拡大には 更なる財源確保が必要である。

○ 活動範囲の拡大

現在福岡市及びその周辺自治体を対象に活動しているが、今後は県内全域に拡大しまた 高齢者だけではなく 子ども女性など弱者対策も必要と考えている。

2 服部県知事からのコメントと激励（予定時間をオーバーし、大きな期待あり）

○ 最近投資詐欺が急増し、被害額も甚大であり、事件の内容を見ても悪質凶悪化している。

○ 交通死亡事故も増加しており、高齢者の被害が多い。 また、高齢者自身が当事者となっているケースもある。

○ 警察本部・警察署 や 行政とも緊密な連携を図って欲しいと思える。

○ 貴NPO法人の活動を大いに期待しています。